

水戸探訪

水戸市立赤塚中学校

1 本事業へのねらい

- 水戸の素晴らしさを再発見し、郷土を愛する心を育てる。
- 級友と協力して班別活動を遂行することで、達成感を味わうとともに、次年度以降の活動に生かす。

2 活動の実際

- (1) 教育課程 総合的な学習
- (2) 実施時期 11月1日(金)
- (3) 対 象 第1学年(4クラス・131人)
- (4) 活 動

赤塚中 水戸探訪 班別行程一覧表												
組	班	人数	移動	時間	訪問1	時間	訪問2	時間	昼食場所	時間	訪問3	赤塚駅
1	A	7	バス	9:30	芸術館	11:00	千波公園		弁当 千波湖	13:30	偕楽園	15:07
	B	6	電車	9:30	芸術館	10:45	木村屋本店	11:40	らあめん藤田	14:10	クレープKS	15:40
	C	6	電車	9:30	県立歴史館	11:00	弘道館	12:05	新竹	13:20	芸術館	15:05
	D	6	電車	8:40	水戸城跡大手門	10:00	裁判所	11:05	黄門そば 蓮平堂	13:00	茨城県警	15:19
	E	7	電車	9:20	千波公園	11:00	偕楽園		偕楽園(弁当)	13:00	県立歴史館	15:19
2	A	7	バス	9:00	堀原運動公園			11:20	スタミナ松五郎	13:30	済生会病院	15:40
	B	7	電車	9:00	芸術館	11:00	徳川ミュージアム	12:15	花キャバツ	13:30	弘道館	15:04
	C	6	電車	9:00	木村屋本店	10:00	郡司工場	11:35	らあめん藤田	13:10	水戸駅	15:40
	D	6	バス	9:15	偕楽園	10:45	千波公園		千波湖(弁当)	13:35	大塚池公園	15:00
	E	7	電車	8:30	水戸城跡弘道館	11:00	偕楽園		偕楽園(弁当)	13:30	県立歴史館	15:19
3	A	6	バス	10:00	徳川ミュージアム			11:55	とんこつ野高菜	13:40	リリアアリーナ	15:19
	B	6	電車	9:30	県立歴史館	11:00	徳川ミュージアム	14:00	コロリコ食堂	14:40		15:40
	C	6	バス	9:05	市植物公園			11:30	つけめんTETSU壺の木戸	13:30	水戸八幡宮	15:25
	D	6	バス	8:40	千波公園			11:30	ウェスタン牧場	14:00	水戸総合運動公園	15:18
	E	6	電車	9:40	弘道館	11:10	県立歴史館	12:00	つるやそばた	13:05	水戸駅	15:06
	F	4	バス	9:00	茨城県庁	11:00	水戸駅		水戸駅内の店	13:52		
4	A	7	電車	9:30	芸術館	11:00	水戸城	12:30	長崎亭	14:00	水戸東照宮	15:05
	B	7	電車	9:10	偕楽園	11:00	芸術館	12:15	ケッズクラブ(水戸駅)	13:30	弘道館	15:06
	C	6	バス	9:30	芸術館	10:50	水戸市民会館	11:55	good bakes(パン)	12:30	水戸駅	15:40
	D	6	バス	8:40	木村屋	9:30	県立歴史館	11:40	偕楽園		好文亭	15:40
	E	7	電車	9:00	弘道館	10:35	水戸城跡周辺	12:20	佳麟亭(かりんてい)	13:40	偕楽園	15:20

(5) 体験先の様子

【水戸地方裁判所】



- ・社会生活のルールが守られないことによって生じる問題を公平適正に解決するのが「裁判所」であり、裁判には様々な種類があることが分かった。

【水戸済生会病院】



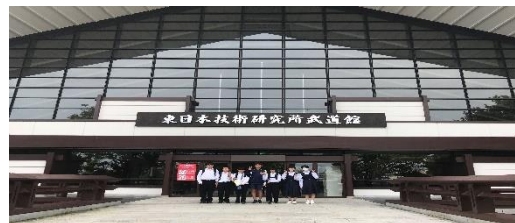
- ・今年で80年の歴史ある病院である。診療科目が30以上ある。1100人もいるスタッフさん一人一人が、私たちを支えてくださっていることを改めて実感した。

【郡司製菓工場】



- ・銘菓「吉原殿中」などを作っている和菓子屋さんである。一つ一つが手作りで、添加物を使っていないため、安心して食べられる。作り方などを見学させていただいた。

【堀原運動公園】



- ・空手道、柔道、弓道、なぎなたなど様々な武道を行える。最近では、ヨガ教室や親子リズムダンス教室などもある。施設内はとても広く、散歩をするなどたくさんの人が楽しく過ごしていた。

(6) 振り返りの時間について

「水戸探訪」で調べたことを一人一人が新聞形式のレポートにまとめた。新聞は学年の廊下に掲示し、学級を超えてお互いの成果を見て学び合えるようにした。

3 成果と課題

<成果>

- ・自分たちが調べたい場所について、行程を考え、話し合いを重ねながら計画を練り、実践できたことで充実感を味わうことができた。今後の生活の中でも生かしていきたい。
- ・「水戸探訪」で実際に訪れることで、地域や訪問先の良さを五感を通して感じる事ができた。また、訪問先の方々にお話を聞き、触れ合うことで、調べただけでは知ることのできない思いや人々の温かさを感じる事ができた。写真の記録も目的をもって生徒自身で撮ることができた。今後のキャリア教育につなげていきたい。

<課題>

- ・生徒の思いを実現するため、訪問先が多くなったが「ひと・まちねっとわーく」さんのお力を借りることができ、実践することができた。訪問先への依頼や連絡調整などの時間がとりにくい現状が課題である。